

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
金谷文則
黒坂昌弘
清水克時
高岸 憲二
土屋 弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川 秀樹

編集同人

井形高明 澤村 誠志
生田義和 田辺 剛造
井樋栄二 田畑四郎
岩田 久 玉置哲也
岩本幸英 中村耕三
大井利夫 馬場久敏
小野村敏信 浜西千秋
加藤博之 佛淵孝夫
金田清志 三笠元彦
腰野富久 三浦隆行
紺野慎一 持田讓治
榊田喜三郎 山田治基
酒匂 崇 吉川靖三
桜井 実

昨年末に、3年ぶりに政権が代わりました。今、日本は、平均寿命、高齢者数、高齢化のスピードという3点において、世界一の高齢化社会となっており、国を挙げての高齢者対策が必要です。2012年9月、日本の高齢者人口(65歳以上)は初めて3,000万人に達し、総人口の約1/4に達しました。25年後には国民全体の約1/3が高齢者になると予測されているほどの、世界一の“超高齢者大国”です。整形外科の日常診療においても、大腿骨頸部骨折、変形性関節症、変形性脊椎症などが急増し、整形外科医は、日々その治療に追われているのが現状です。「介護を必要としない」「自立した生活ができる」生存期間を示す健康寿命についても、男性72.3歳、女性77.7歳、全体75.0歳であり、日本は世界第一位です。今後も、健康寿命のさらなる延伸には、整形外科医の果たす役割が益々大きくなることは間違いありません。健康の維持には、江戸時代の尾張藩の横井也有の健康十訓が有名です。1. 少肉多菜 2. 少塩多酢 3. 少糖多果 4. 少食多飢 5. 少衣多浴 6. 少車多歩 7. 少煩多眠 8. 少念多笑 9. 少言多行 10. 少欲多施。現代にもそのまま当てはまる貴重な教訓であると考えます。中でも少肉多菜、少車多歩、少言多行などは、自警の念を込めて継続したいものです。

最近の本誌「臨床整形外科」の内容も、高齢者疾患に関する原稿が多くを占めるようになってきています。今月号の誌上シンポジウムでも「高齢者の腱板断裂」が企画されました。近年、無症候性腱板断裂が多く存在することが報告され、疾患としてではなく、加齢性変化の一つと捉えるという考えが出てきています。また、「境界領域：知っておきたい」では、吉村先生に、「生活習慣病と運動器の障害—メタボとロコモ」で解説していただきました。ロコモとメタボ、特に膝OAと肥満、脂質異常、高血圧の関連を解析した大規模研究の成果を解説したものであり、健康寿命の延伸には、ロコモ予防が、メタボ予防に勝るとも劣らず重要であることがよく理解できます。「臨床経験」では、「上膝蓋アプローチによる脛骨髄内釘」、「脊髄損傷患者の化膿性股関節炎に対する股関節切除術」が掲載されており、日常臨床に有用なユニークな手術手技を学ぶことができます。症例報告も「軸椎歯突起後方偽腫瘍による頸髄症」や「抗凝固療法に伴う腰部硬膜外血腫」など、認識しておきたい教訓的な症例が多く掲載されています。いずれも整形外科医にとって、明日からの臨床現場で役に立つ、充実した内容となっておりますので、ぜひご一読ください。

(吉川秀樹)

臨床整形外科 (第48巻第2号)

2013年2月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,625 円(本体 2,500 円+税 5%)

2013年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版 29,400 円

冊子+電子版/個人 34,400 円

冊子+電子版/共有 38,900 円

電子版/個人 29,400 円

電子版/共有 33,900 円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID: rinseige パスワード: rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2013, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。